

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第2学年 「国語（教育出版）」

98時間（70%）

週	重点に置く指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	Cア	一 言葉が照らし出す	虹の足	1	・比喩が表しているものを考え、内容を読み取る活動を中心に行う（詩の創作は短歌の単元で行う）
	Aエ		質問する力をつける	1	・進め方によって質問し合うことを中心の活動とする（状況によっては時期をずらして行う）
	Cイウ		タオル	4	・登場人物の言動の意味や表現の仕方について、根拠をもって自分の考えをまとめさせる
2	Aイウ		図表を用いて提案する	3	・課題は社会生活の中からいくつかを教師側から提示し、図表を用いて、構成や展開を考えて話すことを中心の活動とする
3	伝イ（ア）		言葉の小窓1 方言と共通語	1	・方言と共通語のそれぞれのよさをおさえる
4	Cイエ	二 関係を掘り起こす	日本の花火の楽しみ	3	・文章の構成や、事実と考への示し方に着目して、説明の仕方の特徴を中心に指導する
	Bアイ		新聞の投書記事を書く	4	・テーマは330ページの表現テーマ集から選ばせ、「構成の型」を用いて文章を書かせる ・自分の立場を明らかにすることに重点を置いて指導する
	Cカ		漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1	・「練習」は家庭での課題とし、後日確認する
5	伝イ（ア）		言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉	1	・236ページの解説を基に指導し、「考えよう」は家庭での課題とし、後日確認する
6	Cオ 伝イ（オ）	三 自己をひらく	【読書への招待】夢を跳ぶ	2	・一読し、感想を交流した後、課題に対して情報の集め方と情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる方法について指導する
			物語を読み解く	2	・「ごんぎつね」を通して、言語表現と映像表現の違いを捉え、メディアの特性についての考えを深めることを中心の活動とする
	伝イ（エ）		文法の小窓1 活用のない自立語	1	・248ページ～の解説を基に、活用のない自立語を指導する（参考：県教委オンラインサポート授業） ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
	伝ウ（アイ）		漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	・「練習」は家庭での課題とし、後日確認する
	書写		行書の特徴	3	・点画の省略、筆順の変化を中心に指導する
7	Cウエ	四 表現を見つめる	近代の短歌	3	・短歌の創作と簡単な解説文を書くことを単元のゴールの姿とする ・「みちしるべ」を参考に9首を鑑賞することで、短歌の特徴をおさえ、創作の参考とさせる
8	Cイウ		夏の葬列	5	・時間の順序に着目させて、構成や展開の特徴とその効果を考えさせることを中心の活動とする
9	Bウオ		写真から物語を創作する	3	・活動の流れにそって、人物像の設定、人物との関連を考えさせる ・描写や比喩を使っているか互いの作品を読み合う
	伝イ（イ）		漢字の広場3 漢字の多義性	1	・「練習」は家庭での課題とし、後日確認する
10	書写		漢字と仮名の調和	3	・行書を中心に漢字と仮名の調和を中心に指導する（手紙（*1）と関連させてもよい）
11	伝ア（アイ）	五 伝統を見いだす	敦盛の最期	3	・古文独特のリズムに慣れるよう音読させるとともに、当時の時代背景やものの見方を考えさせる
	Cエ 伝ア（ア）		随筆の味わい	3	・注釈を参考に大まかな内容を捉え、登場人物の行動に着目して自分の考えをもたせる
	Cエ 伝ア（アイ）		二千五百年前からのメッセージ	3	・漢文特有の言い回しをおさえ、注釈からとらえた孔子の考え方を、自分の生活と関連付けて考えることを中心の活動とする
12	Bイエ 伝イ（ア）		お礼の手紙を書く（*1）	3	・手紙や封筒の書き方を指導し、学校行事等と関連させて身近な人に向けて手紙を書かせる
	伝イ（ア）		言葉の小窓3 敬語	1	・239ページ～の解説を基に指導し、「深めよう」は家庭での課題とし、後日確認する
13	Cオ 伝ア（イ）		【読書への招待】坊ちゃん	2	・一読し、あらすじを捉えた後、我が国を代表する近代作家について理解させる ・学校図書館を活用し、近代小説を選び、簡単な感想を書かせる（本を読むのは家庭の課題）
	書写		楷書と行書	2	・楷書と行書の使い分けについて指導する

14	Cアエ	六 他者と生きる	水の山 富士山	2	・水の動き、水の恩恵を表す言葉に着目して内容を捉え、筆者の考えに対する自分の考えをまとめることを中心の活動とする
	Cイエ		ガイアの知性（*2）	4	・キーワードに着目して文章の構成や展開、表現の仕方を確かめさせる ・自然や知性に対する筆者の考えに対して、自分の考えをまとめることを中心の活動とする
15	Aエ		話を聞いて自分の考えと比べる	3	・スピーチを聞き合い、自分の考えと比べながら、スピーチの内容や表現を評価することを中心の活動とする
16	Bオ		意見文を読み合う	3	・（*2）でまとめた考えを基に、意見と根拠を明確にした400字程度の文章を書き、互いの文章を読み合い、共通点や相違点を中心に交流させる
	伝イ（エ）	文法への小窓2 活用のある自立語	2	・254ページ～の解説を基に、活用は規則的に変化すること（活用形）、いくつかの種類があることを指導する（参考：県教委オンラインサポート授業） ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する	
17	Bウ Cイエ	七 自己と対話する	学ぶ力	4	・文章全体と部分との関係や例示の効果や筆者のものの見方を捉えた上で、自分の知識と体験とを関連づけて自分の考えをまとめさせる
18	B		四コマ漫画から意見文を書く	4	・1年間の復習とし、生徒の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する
19	伝イ（イ）	八 考えを交流する	言葉の小窓4 類義語・対義語・多義語・同音語	1	・242ページ～の解説を基に指導し、「深めよう」は家庭での課題とし、後日確認する
	Cエ 伝イ（オ）		レモン哀歌	1	・レモンに託された象徴的な意味を考えさせた上で、自分なりに朗読をさせる
	Aイ		反対意見を想定して話すには	1	・反対意見を想定して話す方法について理解させる
	伝イ（エ）		文法の小窓3 付属語のいろいろ	1	・263ページ～の解説を基に、助詞と助動詞のはたらきと種類を指導する（参考：県教委オンラインサポート授業） ・「やってみよう」は家庭での課題とし、後日確認する
	伝ウ（アイ）		漢字の広場4 同音の漢字	1	・「練習」は家庭での課題とし、後日確認する
20	Cイウエ	九 考えを交流する	走れメロス	5	・人物の描写や会話、心の中の言葉に着目して、大体の流れをつかみ、「メロス」の行動や考え方で共感できたところやできなかったところを交流させる
21	Aオ		役割を決めて討論する	4	・グループ討論を通して、相手の意見を尊重し、自分の考えを広げること重点をおく
	書写		一年間のまとめ	2	・行書を使って、学校生活に役立つ掲示物を作成するなどしてもよい

【時間数の精選方法（例）】

○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする

・各領域ともに、複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力（指導事項）を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、単元2「日本の花火の楽しみ方」では、指導事項イの「文章全体と部分の関係や例示の効果」を中心に指導し、単元6「ガイアの知性」では、指導事項エ「文章に表れているものの考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ」のために、互いの意見を交流させる指導を行います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」も同様の考え方です。

○小単元をまとめて指導したり、家庭での課題にして補ったりする

・「漢字の広場」「言葉の小窓」「文法の小窓」については、まず、指導内容が既習事項なのか、新しい内容なのかを確かめます。新しい内容の場合、あわせて指導できる内容があるかを考えます。練習問題については、教科書巻末の問題やワーク等を家庭の課題とすることで、授業時間の削減が可能となります。なお、家庭での課題とする場合、生徒の達成状況を把握し、個への支援が必要なこともあります。

○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が「読むこと」オ（※）になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力を向上させるのが望ましいとされます。また、「読書への招待」、「読んでみよう」では、学校図書館を活用し、家庭での読書を促し、幅広い読書をさせることが可能となります。

○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導については、中学2年生では、20単位時間程度行うものとあります。教育出版では、意見文や創作文を表現する「書くこと」の領域の学習において、例えば、原稿用紙や表紙の書き方を通して、配置・配列や漢字と仮名の調和といった指導事項をおさえることが可能です。（本資料では、書写に取り立てた指導を10時間（50％）で作成しています。）

○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や生徒の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インタビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。

※本資料は、中学校学習指導要領（平成20年9月）によって作成しています。